

第9回 藤枝市認知症とともに生きる共創のまちづくり委員会

主 催：藤枝市 健康福祉部 地域包括ケア推進課

と き：令和8年5月21日（木）午後2時～

と ころ：市役所西館5階 大会議室

1. 開 会
 2. 健康福祉部長あいさつ
 3. 自己紹介
 4. 委員長、副委員長の選出
 5. 委員長あいさつ
 6. 議 事
- (1) 第10次ふじえだ介護・福祉ぷらん21の調査結果について

(2) 令和8年度の計画に基づく取組について

【次回開催日】 第10回藤枝市認知症とともに生きる共創のまちづくり委員会
令和8年9月16日（水）10時～ 場所：市役所西館5階 大会議室

認知症とともに生きる共創のまちづくり計画アウトカム指標

～第10次ふじえだ介護・福祉ぷらん21調査結果より～

地域包括ケア推進課

・重点目標 1 希望ある認知症観の普及と理解の深化

・アウトカム指標（目標の達成状況）

指 標	一般高齢者	要支援認定者
認知症になってからも希望を持って自分らしく暮らし続けることができると思う人の割合	15.9%	17.8%

・重点目標 2 一人一人の個性と力を生かした社会参加の促進

・アウトカム指標（目標の達成状況）

指 標	一般高齢者	要支援認定者
認知症の人が外出や買い物、地域活動等の自分のやりたいことを実現できていると思う人の割合	9.3%	11.7%

・重点目標 3 安心して思いを伝えられる環境づくりの推進

・アウトカム指標（目標の達成状況）

指 標	一般高齢者	要支援認定者
自分が認知症になったとき、身近な人に気持ちを伝えられると思う人の割合	52.1%	49.0%

藤枝市

第10次ふじえだ介護・福祉ぷらん21

策定に係るアンケート調査報告書

【認知症部分抜粋】

令和8年4月

藤枝市

目 次

調査の概要	1
1 . 調査の目的.....	1
2 . 調査対象及び調査方法.....	1
3 . 回収数・回収率.....	1
4 . 調査書の見方	2
一般高齢者調査、総合事業対象者・在宅要支援認定者調査の結果.....	
問1 あなたのご家族や生活状況について	
問2 からだを動かすことについて	
問3 食べることについて.....	
問4 毎日の生活について.....	
問5 地域での活動について	
問6 たすけあいについて—あなたとまわりのひとの「たすけあい」について.....	
問7 健康について	
問8 認知症について.....	3
問9 その他について.....	
要介護リスクの状況について（一般高齢者）	

在宅要介護認定者調査の結果.....

A票 調査対象者本人について.....

B票 主な介護者について.....

C票 その他.....

ケアマネジャー調査の結果.....

1 回答者の勤務状況について.....

2 ケアマネジャーの資質向上のための対策について.....

3 ケアプラン業務の状況について.....13

4 介護サービス提供に対する評価・要望等について.....

介護保険サービス事業所調査の結果.....

1 事業所の運営形態やサービス種別について.....

2 提供サービスの状況について.....

3 その他.....

調査の概要

1 . 調査の目的

本調査は、「第10次ふじえだ介護・福祉ぶらん21（令和9年度から令和11年度）」の策定に向け、策定に必要な高齢者の生活実態や普段の意識やその変化を把握し、高齢者福祉及び介護保険サービスのあり方を検討するための基礎資料として活用することを目的として実施しました。

2 . 調査対象及び調査方法

以下の調査を実施しました。実施した調査別の調査対象等は以下の通りです。

	調査種別	調査対象	調査方法	調査期間
1	一般高齢者	本市に居住する65歳以上の市民から3,000人を無作為抽出	郵送配付・ 郵送回収	令和8年 1月26日（月） ～2月12日（木）
2	総合事業対象者・ 在宅要支援認定者	本市に居住する藤枝市介護予防・日常生活支援総合事業の対象となっている人及び要支援1・2の認定を受けている人から770人を無作為抽出		
3	在宅要介護認定者	本市に居住する在宅で要介護認定を受けている人1,330人を無作為抽出		
4	ケアマネジャー調査	本市に所在地を置く居宅介護支援を行う事業所に所属するケアマネジャー全員を対象とした悉皆調査	郵送配布・ 郵送または Web回収	
5	介護保険サービス事業所	本市に所在地を置く、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを実施する事業所全数を対象とした悉皆調査	郵送配布・ 郵送回収	

3 . 回収数・回収率

アンケートの回収結果は以下のとおりです。調査期間を過ぎて返送された調査票についても、集計に支障のない範囲で有効回収に算入しています。

	調査種別	配付数	有効回収数	有効回収率
1	一般高齢者	3,000	2,245	74.8%
2	総合事業対象者・在宅要支援認定者	770	590	76.6%
3	在宅要介護認定者	1,330	757	56.9%
4	ケアマネジャー	151	111	73.5%
5	介護保険サービス事業所	202	120	59.4%

4 . 報告書の見方

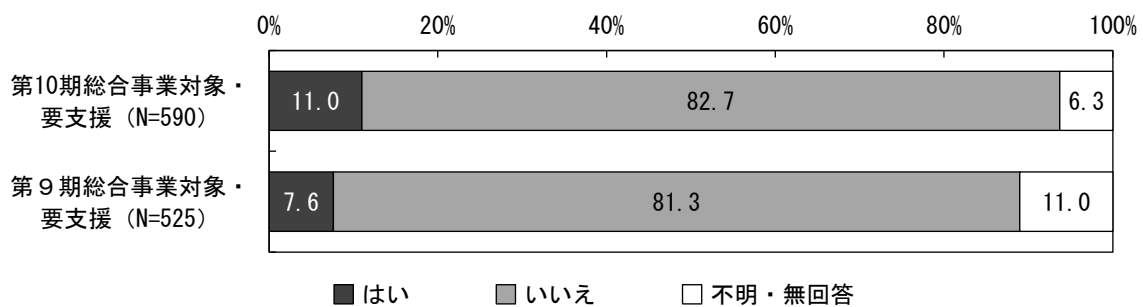
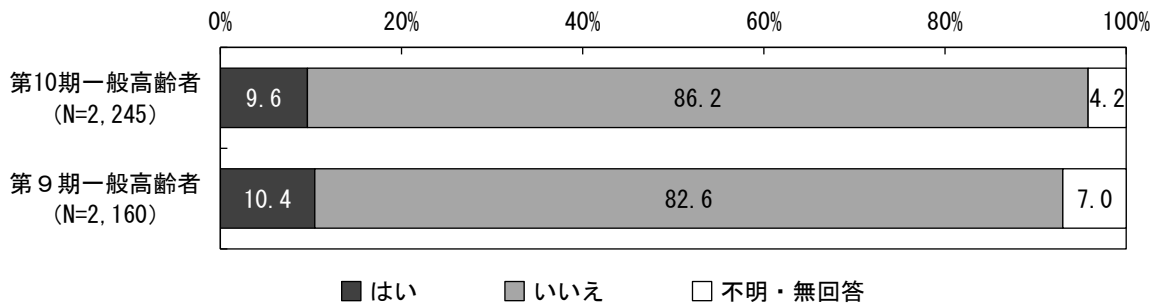
- ◆回答結果の割合「%」は集計対象者総数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、選択肢からいずれか1つの選択肢を選ぶ設問であっても合計値が100.0%ちょうどにならない場合があります。
- ◆複数回答（回答数の表記のない場合は、当てはまる選択肢をすべて選択する形式）の設問の場合、各選択肢の回答割合の合計が100.0%を超える場合があります。この形式の設問については、質問文の末尾に「複数回答」と表記しています。
- ◆図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◆図表中の「N (number of case) 」は、集計対象者総数（回答者を限定する設問の限定条件に該当する人の総数）を表しています。
- ◆本文中の設問・選択肢は簡略化している場合があります。
- ◆一般高齢者調査と総合事業対象者・在宅要支援認定者調査については、質問のほとんどが共通しているため、調査結果を併せて記載しています。その際、文中では一般高齢者を対象とした結果は「一般高齢者」、総合事業対象者・在宅要支援認定者を対象とした調査は「要支援認定者」と記載しています。
- ◆調査結果について、令和4年度に実施した前回調査との比較を行っています。記載にあたっては、本調査結果を「第10期」、前回調査結果を「第9期」と表記しています。

問8 認知症について

(1)認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

一般高齢者では「はい」が9.6%、「いいえ」が86.2%となっています。

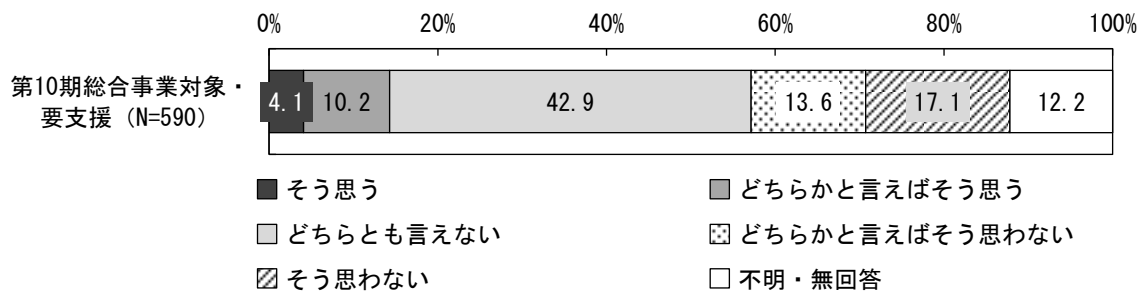
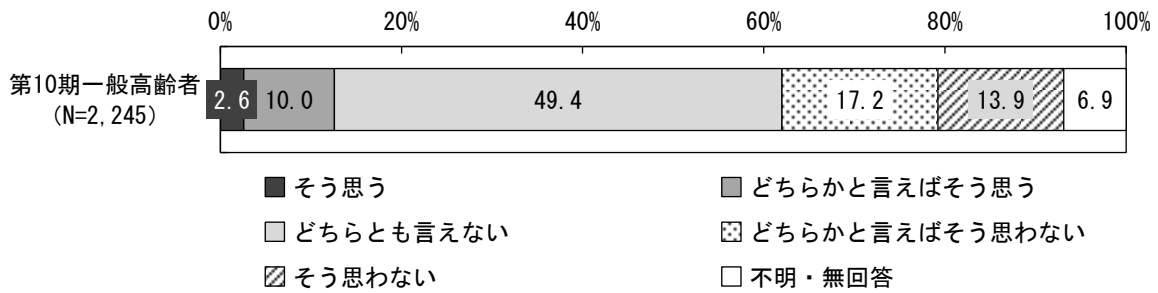
要支援認定者では「はい」が11.0%、「いいえ」が82.7%となっています。



(2)あなたは、今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか

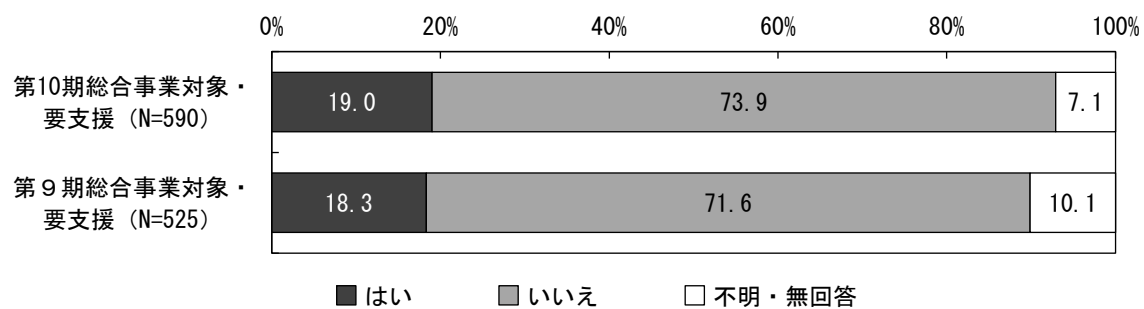
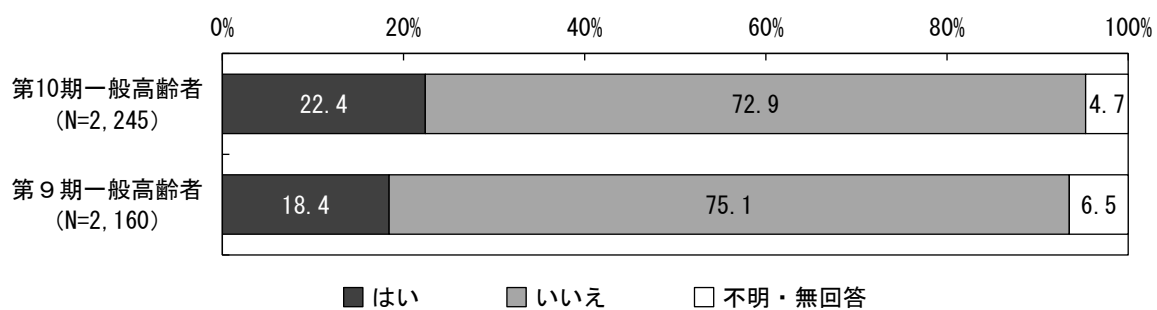
一般高齢者では「どちらとも言えない」が49.4%と最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思わない」が17.2%、「そう思わない」が13.9%となっています。肯定的な回答の合計は12.6%、否定的な回答の合計は31.1%となっています。

要支援認定者では「どちらとも言えない」が42.9%と最も多く、次いで「そう思わない」が17.1%、「どちらかと言えばそう思わない」が13.6%となっています。肯定的な回答の合計は14.3%、否定的な回答の合計は30.7%となっています。



(3)認知症に関する相談窓口を知っていますか

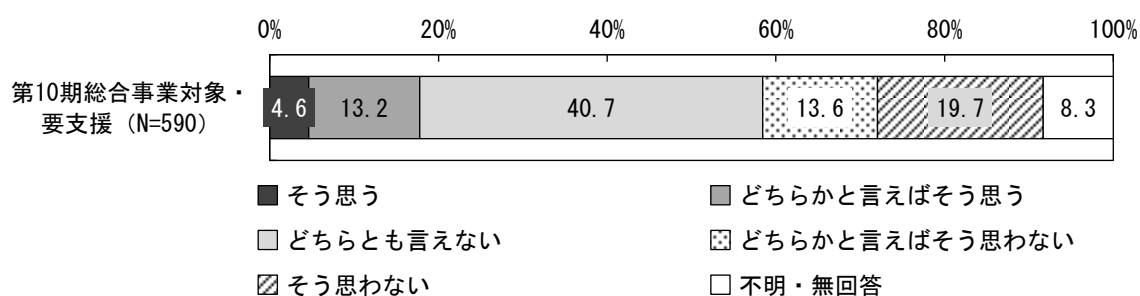
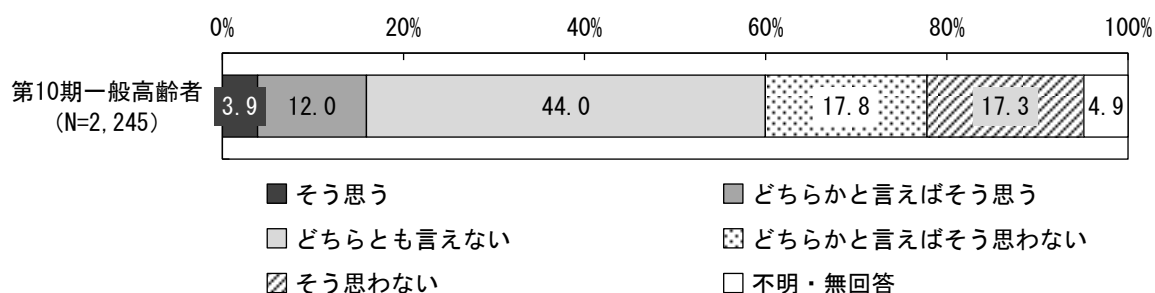
一般高齢者では「はい」が22.4%、「いいえ」が72.9%となっています。
要支援認定者では「はい」が19.0%、「いいえ」が73.9%となっています。



(4)あなたは、認知症になってからも地域で仲間等とつながりながら、希望を持って暮らし続けることができますか

一般高齢者では「どちらとも言えない」が44.0%と最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思わない」が17.8%、「そう思わない」が17.3%となっています。肯定的な回答の合計は15.9%、否定的な回答の合計は35.1%となっています。

要支援認定者では「どちらとも言えない」が40.7%と最も多く、次いで「そう思わない」が19.7%、「どちらかと言えばそう思わない」が13.6%となっています。肯定的な回答の合計は17.8%、否定的な回答の合計は33.3%となっています。

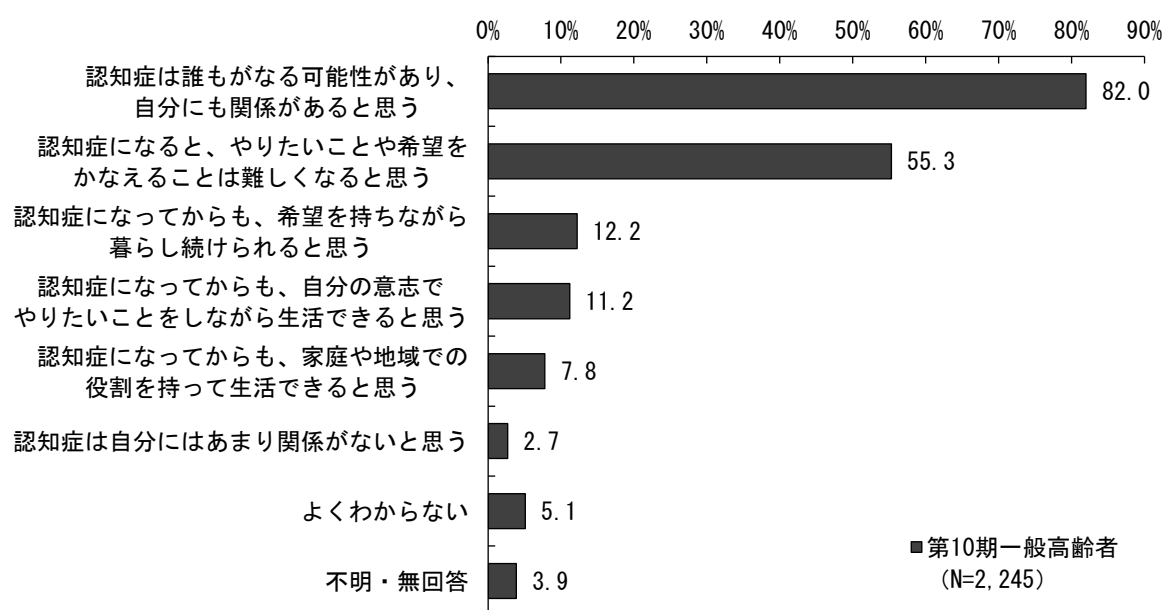


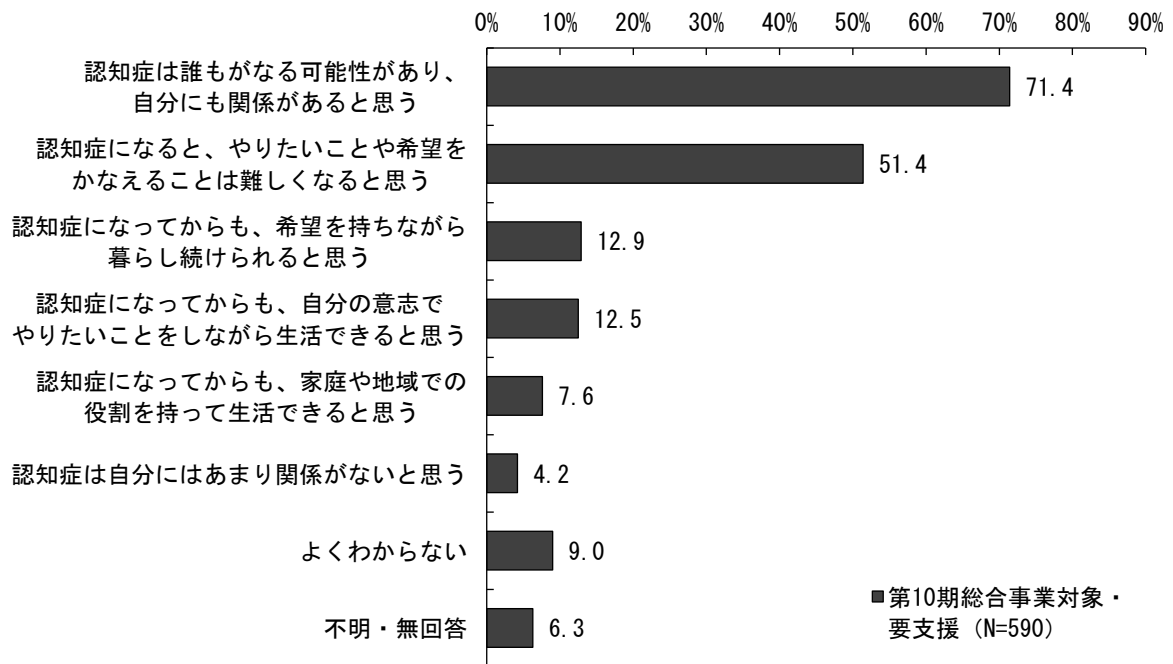
(5)あなたは認知症について、どのような印象や考えをお持ちですか。あてはまるもの

のをすべて選んでください【複数回答】

一般高齢者では「認知症は誰もがなる可能性があり、自分にも関係があると思う」が82.0%と最も多く、次いで「認知症になると、やりたいことや希望をかなえることは難しくなると思う」が55.3%となっています。

要支援認定者では「認知症は誰もがなる可能性があり、自分にも関係があると思う」が71.4%と最も多く、次いで「認知症になると、やりたいことや希望をかなえることは難しくなると思う」が51.4%となっています。

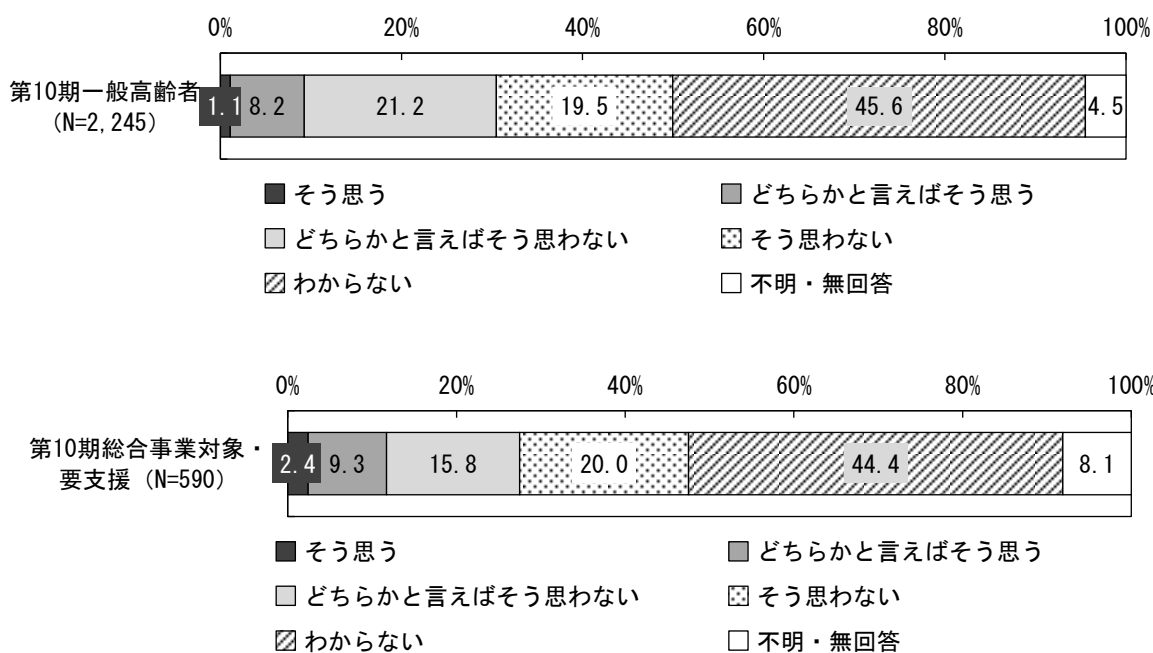




(6)あなたの住む地域では、認知症の人が外出や買い物、地域活動などの自分のやりたいことを実現できていると思いますか

一般高齢者では「わからない」が45.6%と最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思わない」が21.2%、「そう思わない」が19.5%となっています。肯定的な回答の合計は9.3%、否定的な回答の合計は65.1%となっています。

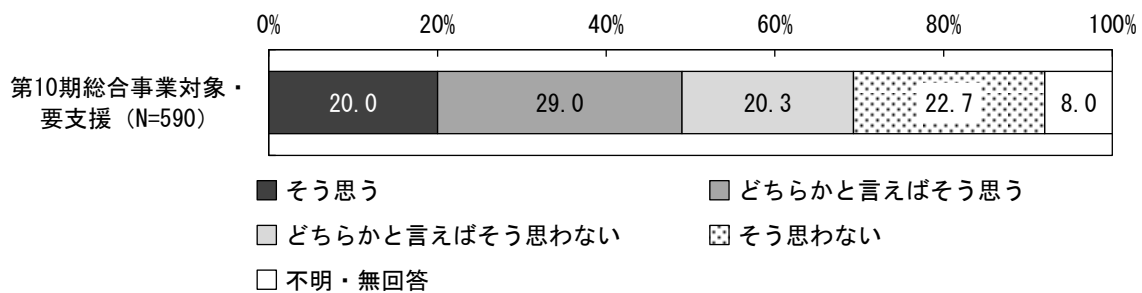
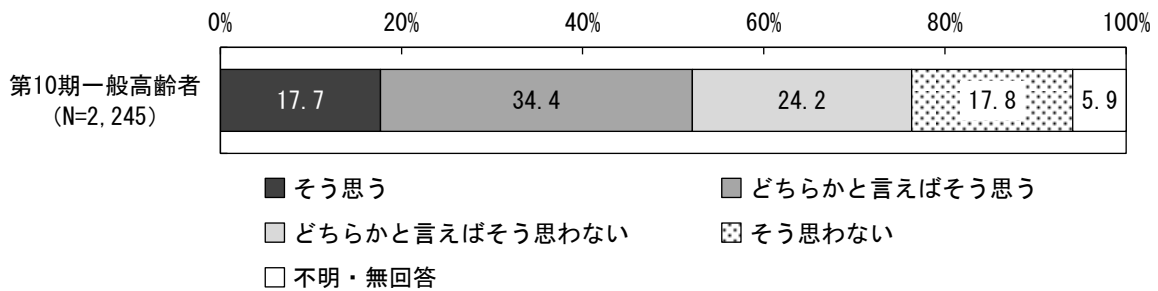
要支援認定者では「わからない」が44.4%と最も多く、次いで「そう思わない」が20.0%、「どちらかと言えばそう思わない」が15.8%となっています。肯定的な回答の合計は11.7%、否定的な回答の合計は64.4%となっています。



(7)あなた自身が認知症になったとき、認知症であることや自分の思いを、身近な人に伝えられると思いますか

一般高齢者では「どちらかと言えばそう思う」が34.4%と最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思わない」が24.2%、「そう思わない」が17.8%となっています。肯定的な回答の合計は52.1%、否定的な回答の合計は42.0%となっています。

要支援認定者では「どちらかと言えばそう思う」が29.0%と最も多く、次いで「そう思わない」が22.7%、「どちらかと言えばそう思わない」が20.3%となっています。肯定的な回答の合計は49.0%、否定的な回答の合計は43.0%となっています。

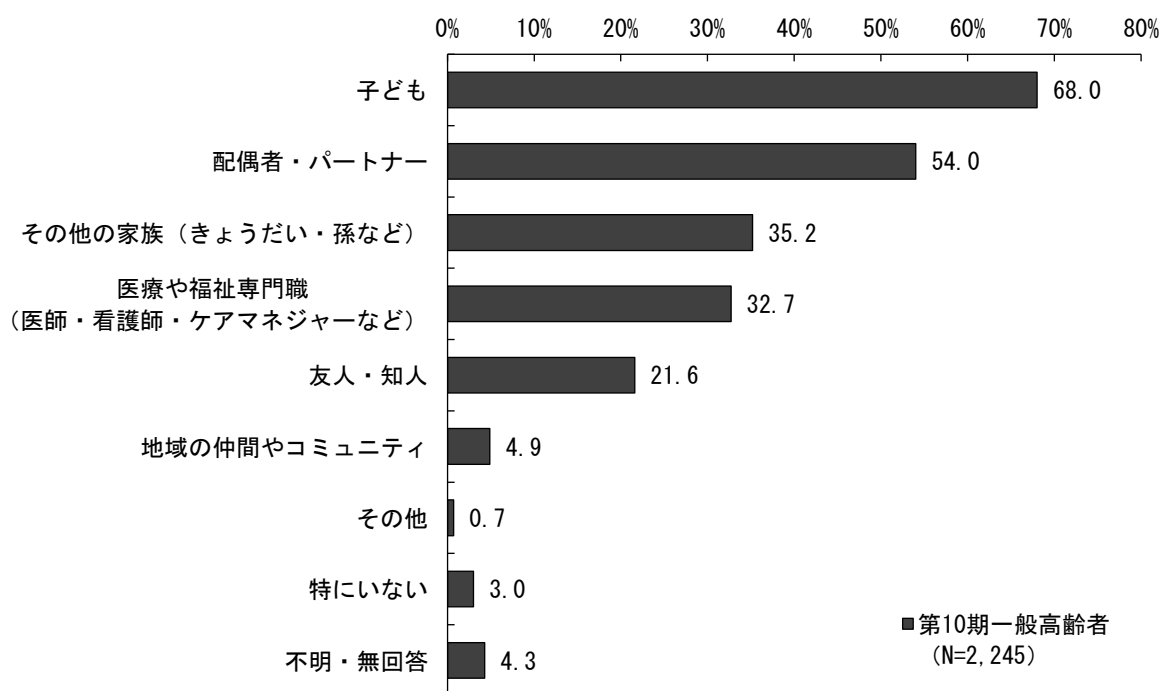


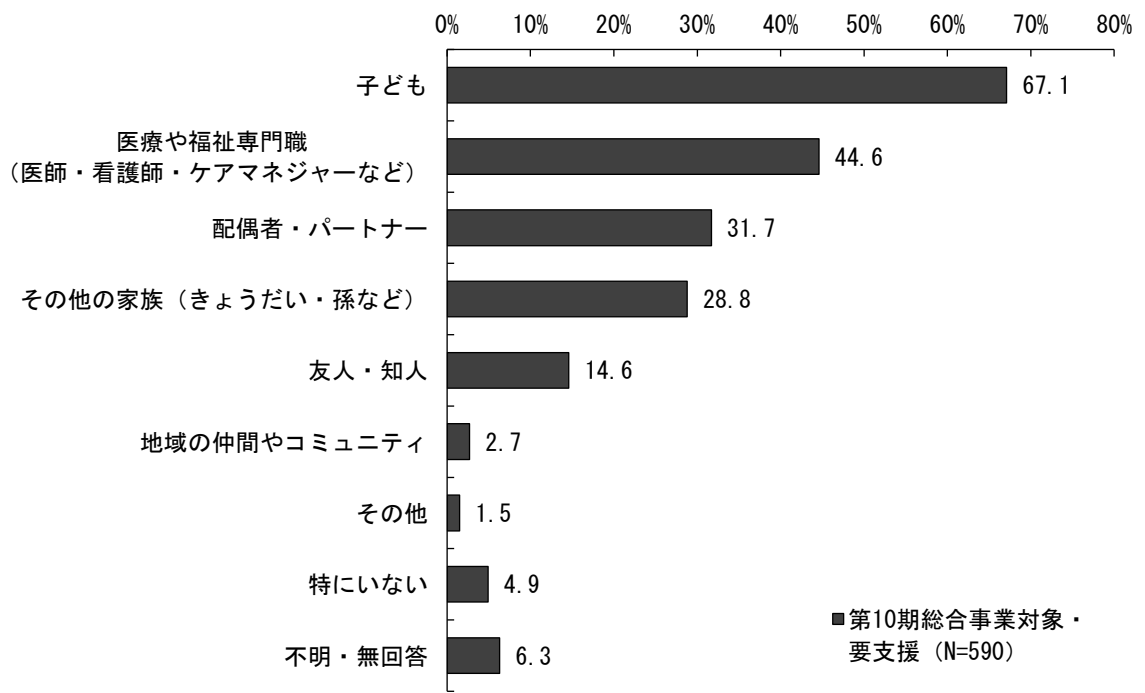
(8)あなた自身が認知症になったとき、認知症であることや自分の思いを伝えたいと

思う相手は誰ですか。あてはまるものをすべて選んでください【複数回答】

一般高齢者では「子ども」が68.0%と最も多く、次いで「配偶者・パートナー」が54.0%、「その他の家族（きょうだい・孫など）」が35.2%となっています。

要支援認定者では「子ども」が67.1%と最も多く、次いで「医療や福祉専門職（医師・看護師・ケアマネジャーなど）」が44.6%、「配偶者・パートナー」が31.7%となっています。



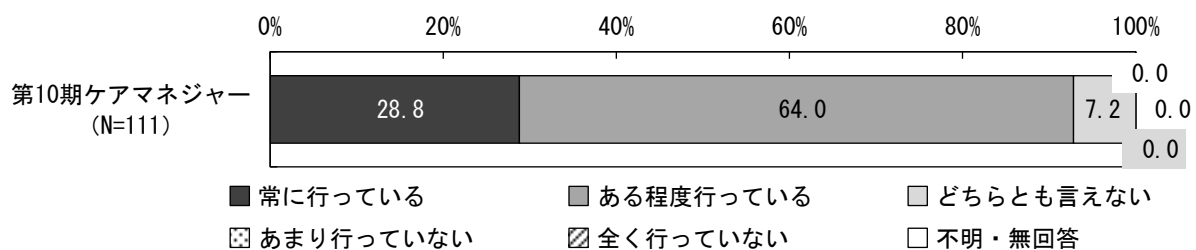


ケアマネジャー調査の結果

問 23 あなたは、認知症のある利用者に対して、日常的にどのような意思決定支援を行っていますか。

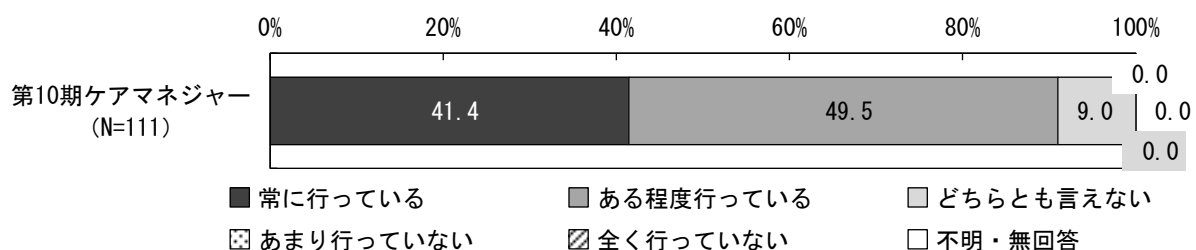
①利用者がどのような暮らしをしたいか、暮らしの意向を確認している

「ある程度行っている」が64.0%と最も多く、次いで「常に行っている」が28.8%、「どちらとも言えない」が7.2%となっています。



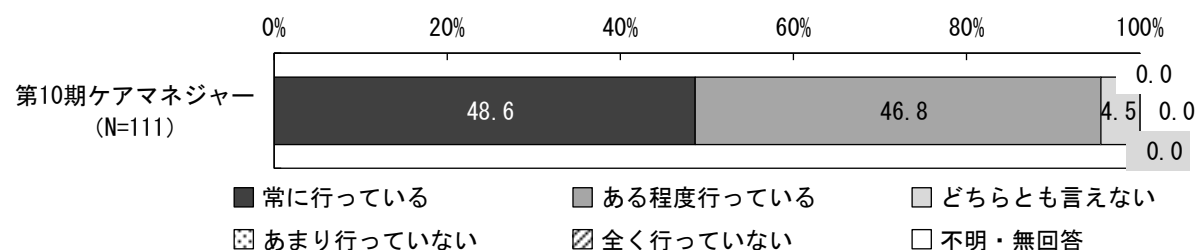
②利用者の認知機能に応じて、理解しやすい言葉や方法（写真や絵、具体物等）で説明している

「ある程度行っている」が49.5%と最も多く、次いで「常に行っている」が41.4%、「どちらとも言えない」が9.0%となっています。



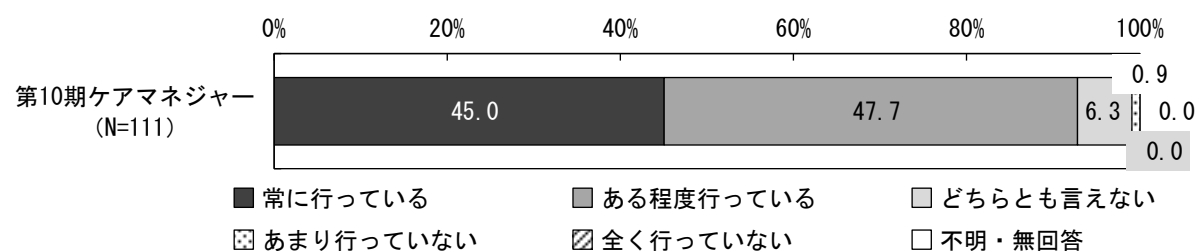
③利用者が言葉で表現しにくい場合、表情や身振りなどから意思を読み取るように
している

「常に行っている」が48.6%と最も多く、次いで「ある程度行っている」が46.8%、「どちらとも言えない」が4.5%となっています。



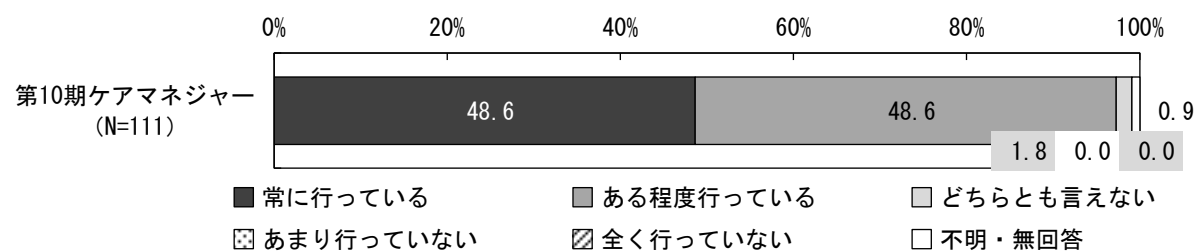
④利用者の意思を担当者会議などで多職種と共有している

「ある程度行っている」が47.7%と最も多く、次いで「常に行っている」が45.0%、「どちらとも言えない」が6.3%となっています。



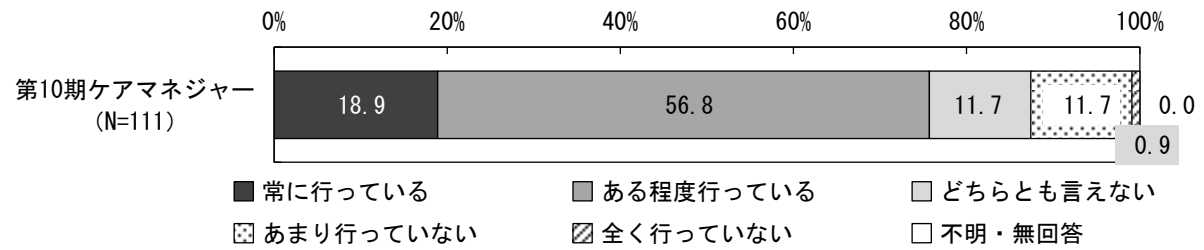
⑤利用者の意思が確認しづらい場合には、家族や身近な人からの、本人の推定意思
を確認している

「常に行っている」「ある程度行っている」が48.6%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が1.8%となっています。



⑥意思決定支援に関する学習会や研修会に参加している

「ある程度行っている」が56.8%と最も多く、次いで「常に行っている」が18.9%、「どちらとも言えない」「あまり行っていない」が11.7%となっています。

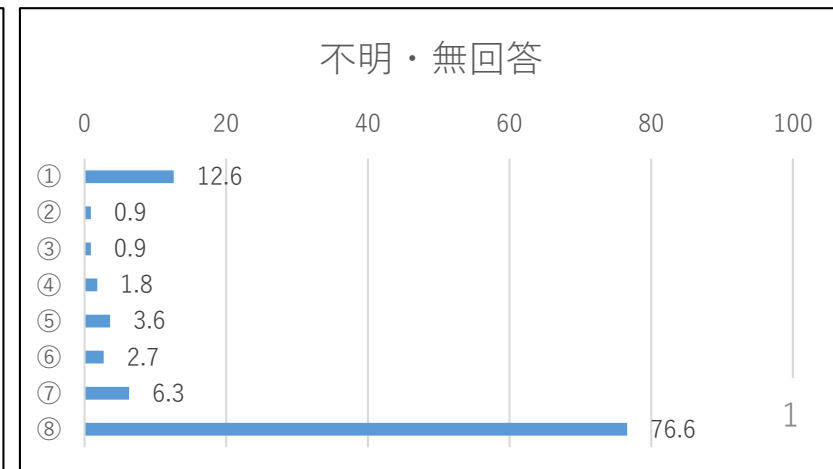
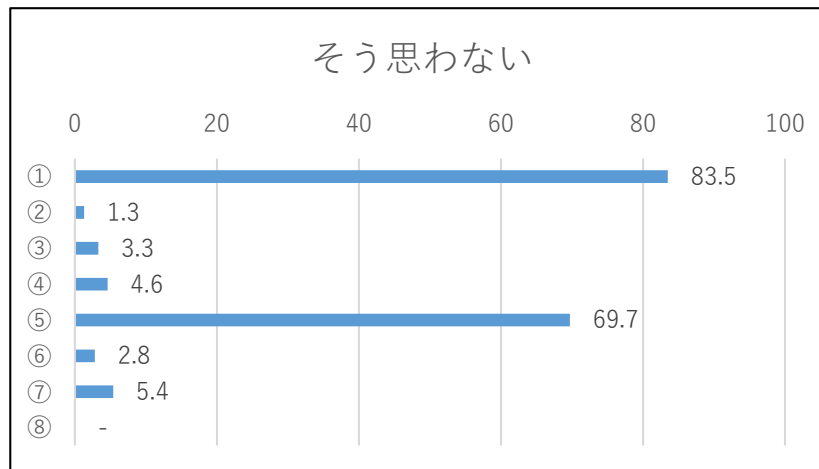
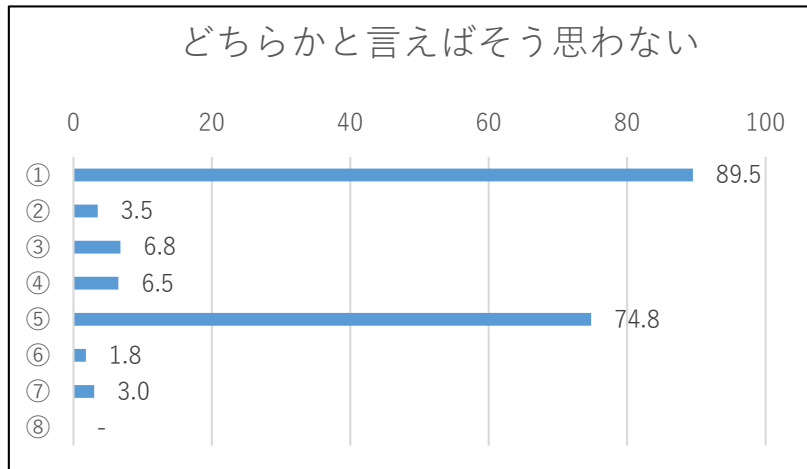
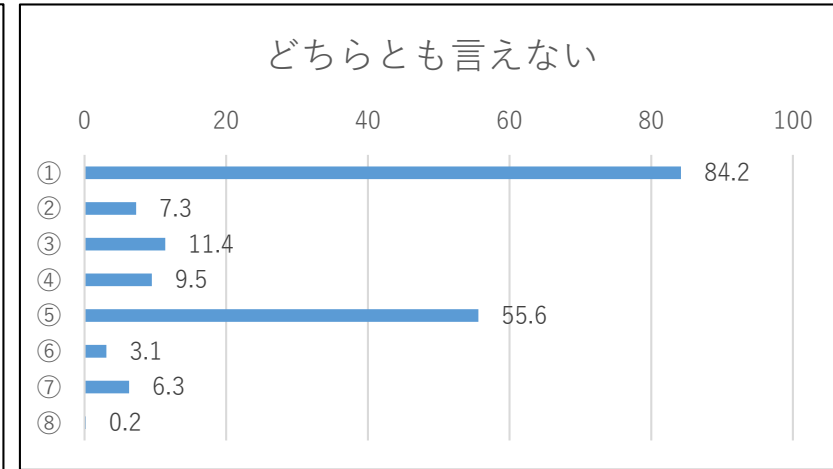
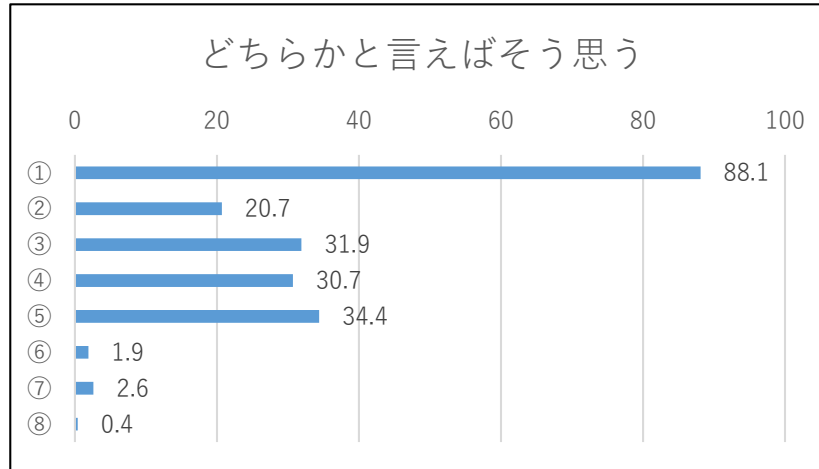
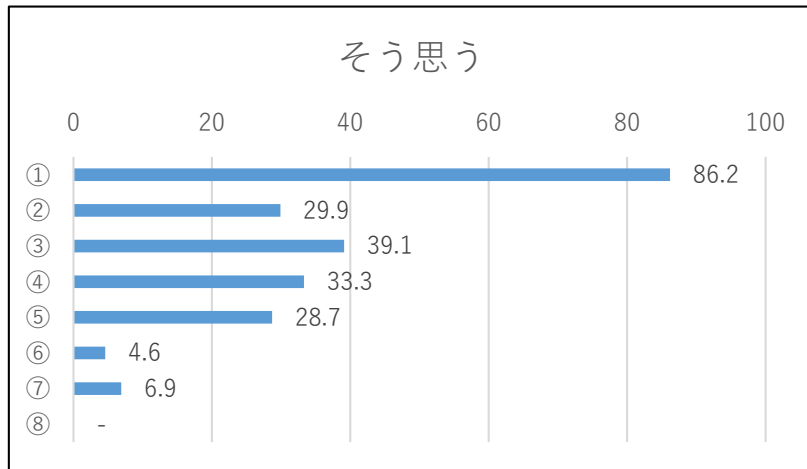


【問8(4)と(5)のクロス集計結果】

第10期一般高齢者

◆ 認知症になってからも地域で仲間等とつながりながら、希望を持って暮らし続けることができる
と回答した人ほど、認知症に対する印象も前向きに捉えている傾向がある。

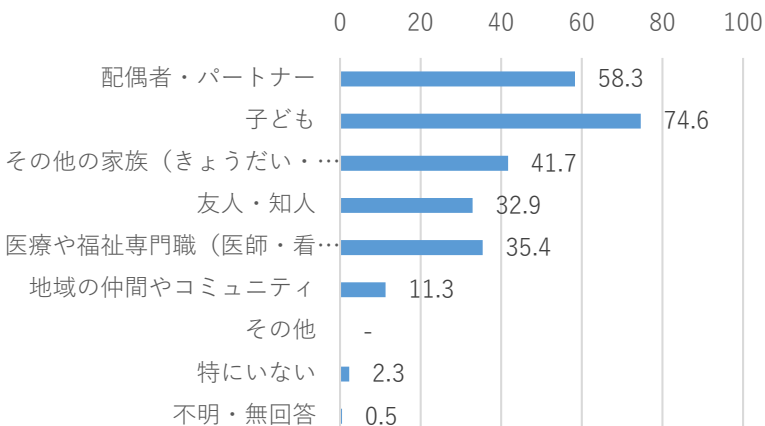
- ① 認知症は誰もがなる可能性があり、自分にも関係があると思う
- ② 認知症になってからも、家族や地域での役割を持って生活できると思う
- ③ 認知症になってからも、希望を持ちながら暮らし続けられると思う
- ④ 認知症になってからも、自分の意志でやりたいことをしながら生活できると思う
- ⑤ 認知症になるとやりたいことや希望をかなえることは難しくなると思う
- ⑥ 認知症は自分にはあまり関係がないと思う
- ⑦ よくわからない
- ⑧ 不明・無回答



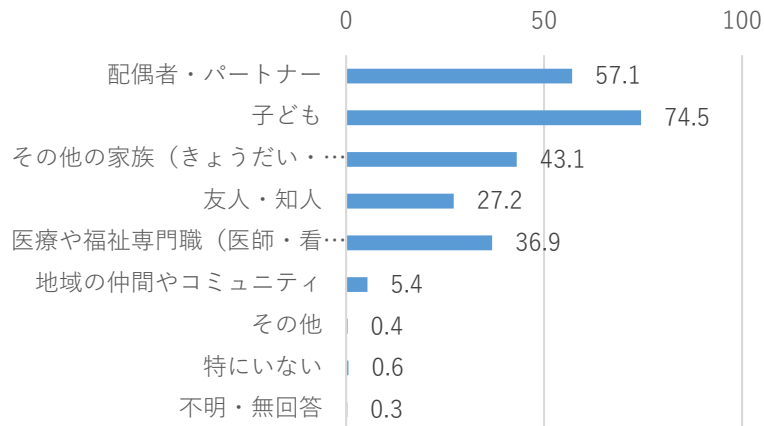
【問8(7)と(8)のクロス集計結果】

➤ 「認知症になったとき、自分の思いを身近な人に伝えられる」と回答した人は、友人・知人や地域の仲間・コミュニティを挙げる割合も高く、伝えられる範囲が広い傾向がある。

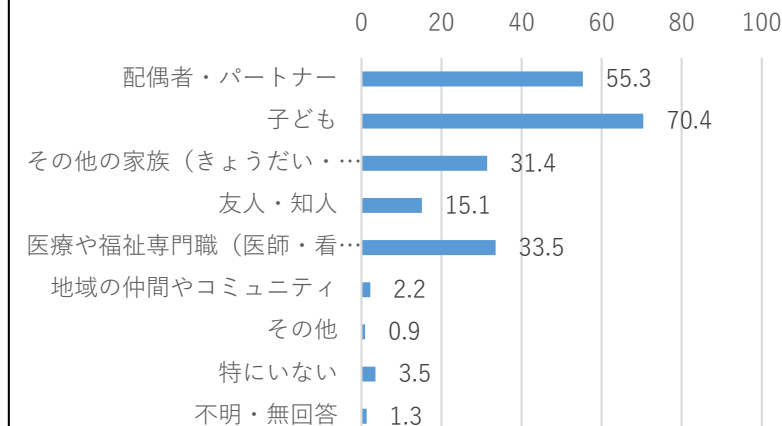
そう思う



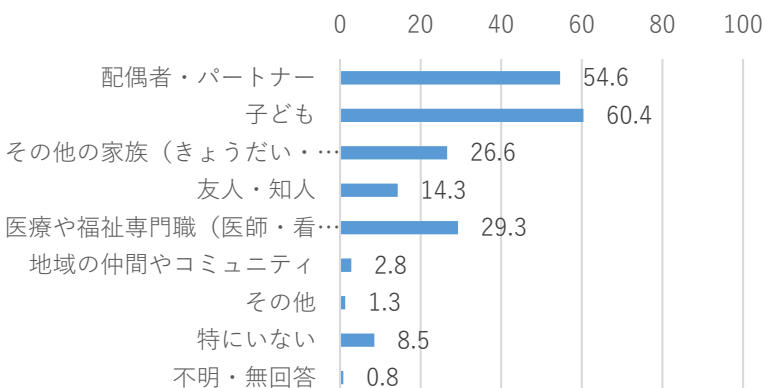
どちらかと言えばそう思う



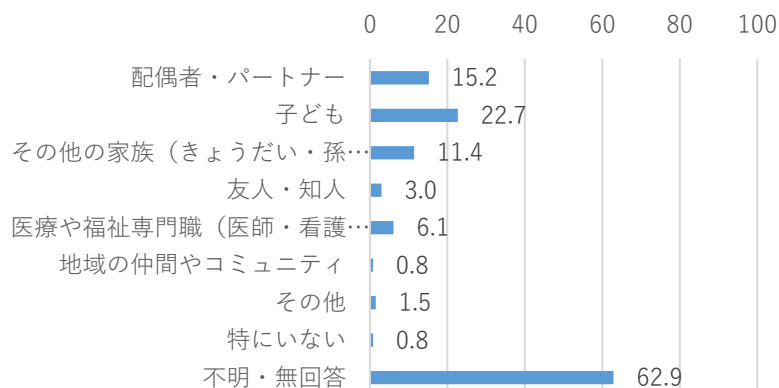
どちらかと言えばそう思わない



そう思わない



不明・無回答

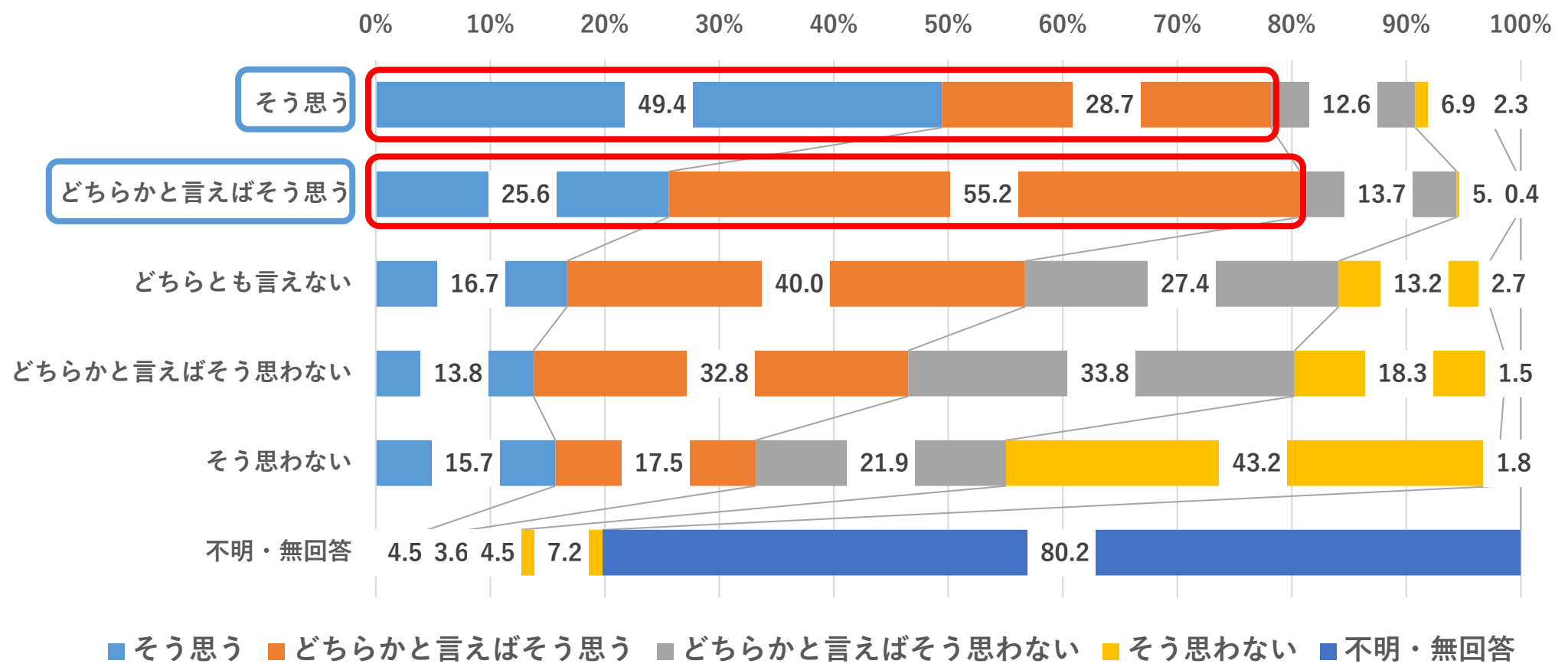


配偶者・パートナー
 子ども
 その他の家族 (きょうだい・孫など)
 友人・知人
 地域の仲間やコミュニティ
 その他
 特になし
 不明・無回答

【問8(4)と(7)のクロス集計結果】

◆ 「認知症になっても地域で仲間等とつながりながら、希望を持って暮らし続けることができる」と考える人では、「認知症であることや自分の思いを伝えられる」と回答する割合が高い傾向。

(4) あなたは、認知症になっても地域で仲間等とつながりながら、希望を持って暮らし続けることができますか。

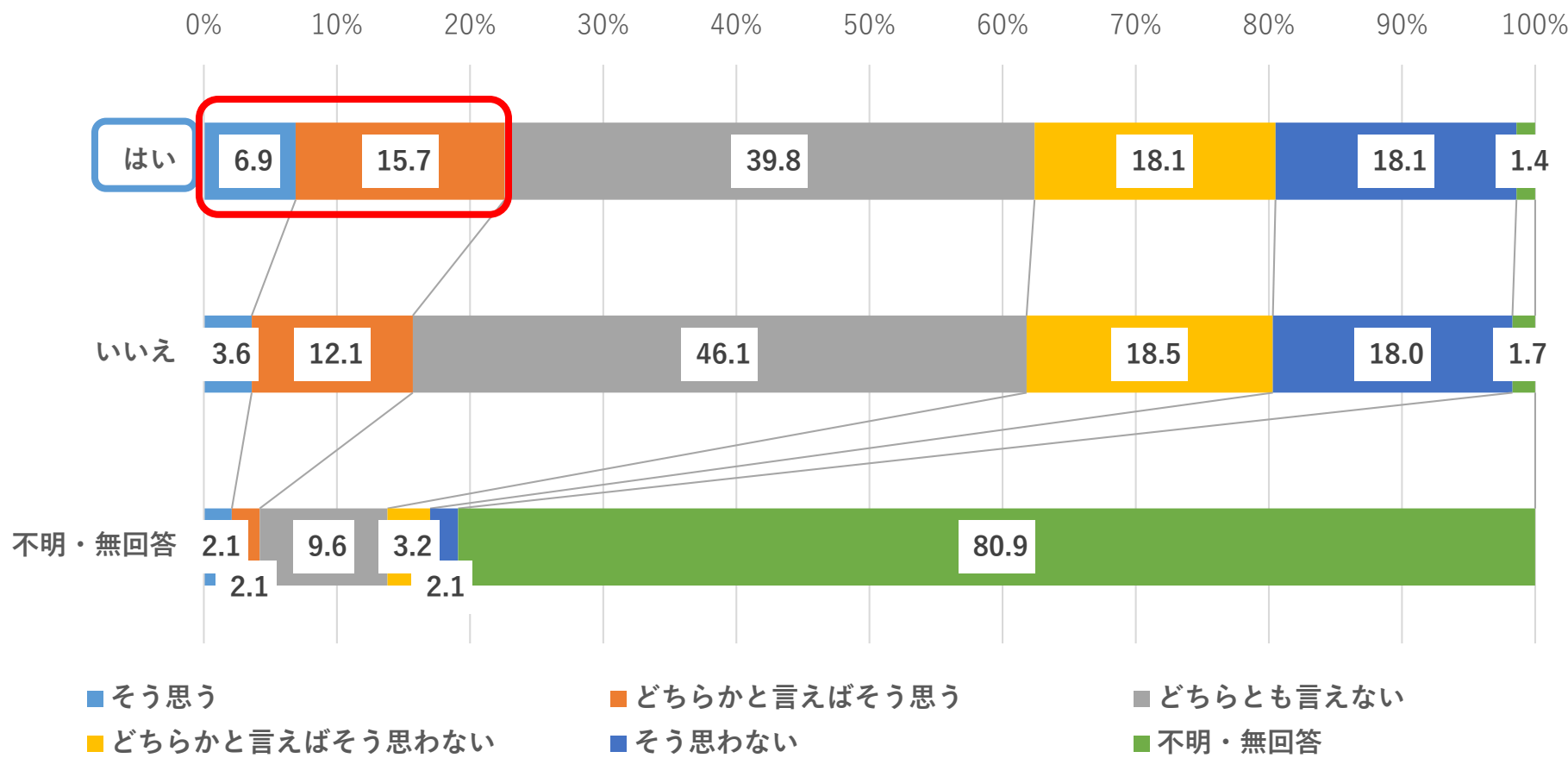


(7) あなた自身が認知症になったとき、認知症であることや自分の思いを、身近な人に伝えられると思いますか

【問8(1)と(4)のクロス集計結果】

◆ 認知症の症状がある人や家族に認知症の症状がある人では、症状がない人と比べ、「認知症になってからも地域で仲間等とつながりながら希望を持って暮らし続けることができる」と回答する割合が高い。

(1) 認知症の症状がある
又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

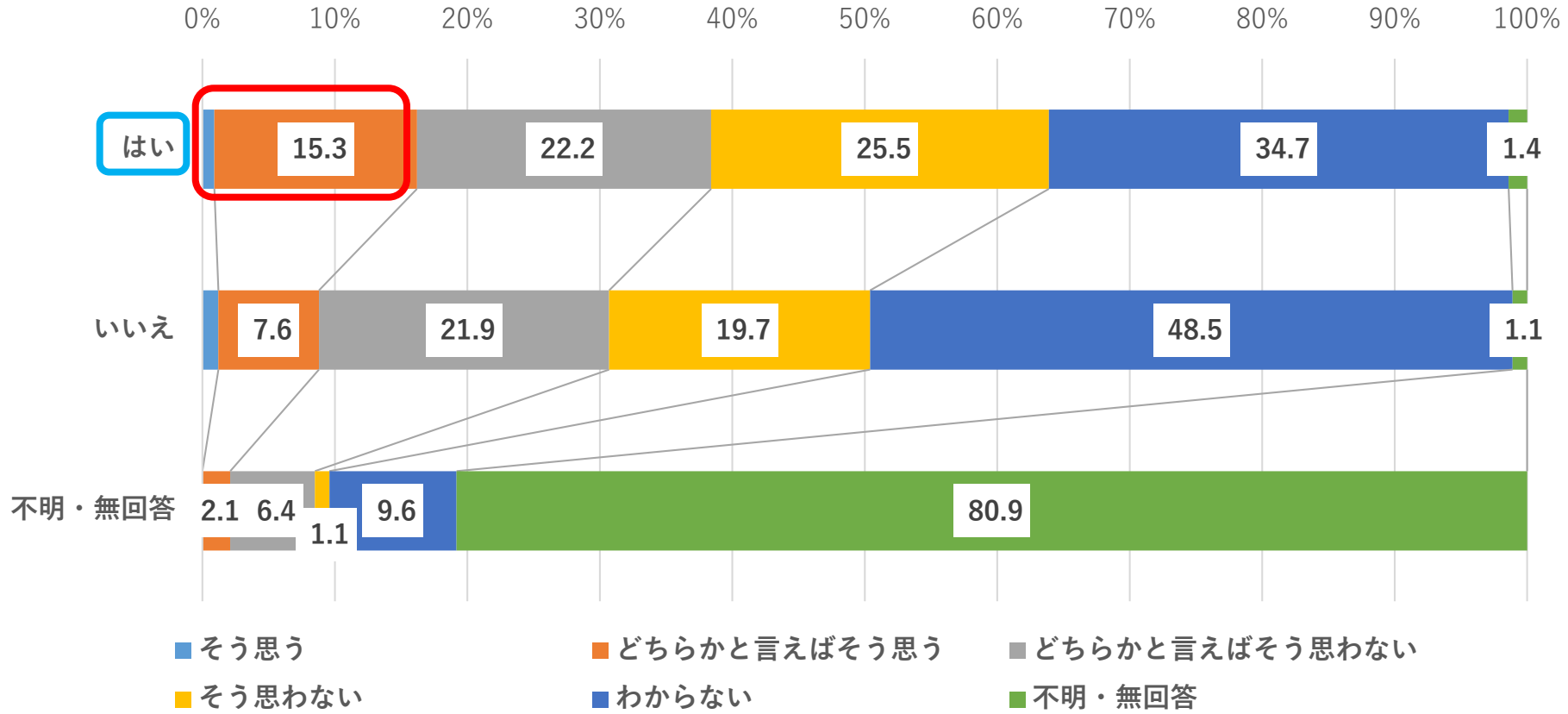


(4) あなたは、認知症になってからも地域で仲間等とつながりながら、希望を持って暮らし続けることができますか



【問8(1)と(6)のクロス集計結果】

◆ 認知症の症状がある人や家族に認知症の症状がある人では、症状がない人と比べ、「認知症の人が外出や買い物、地域活動等の自分のやりたいことを実現できていると思う」と回答する割合が高い。

①
認知症の症状がある
又は家族に認知症の症状がある人がいますか。



(6) あなたの住む地域では、認知症の人が外出や買い物、地域活動などの自分のやりたいことを実現できていると思いますか。

		◆令和8年度	
		【前回委員会】 令和8年度取組に向けた意見	令和8年度取組について（案）
重点目標 1 希望ある認知症観の普及と理解の深化 重点施策 1 認知症の人の本人発信と本人参画の推進 重点施策 2 条例の基本理念の普及・啓発		<ul style="list-style-type: none"> 多様な立場や年代の人への普及啓発 関心のない人にも伝えられるよう、地域に出向き伝えていく 	普及啓発 ・地域に出向いた形での普及啓発の実施
	重点目標 2 一人一人の個性と力を生かした社会参加の促進 重点施策 1 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進 重点施策 2 認知症になってからも活躍できる多様な機会の創出 重点施策 3 介護をしながら働き続けられる環境整備の推進		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 企業への理解促進に向けた取組 ・若年性認知症についての理解促進（認知症になってからも働き続ける） ・認知症の人への理解促進（バリアフリー化の推進に向けて） ・働きながら介護ができる環境づくり（相談窓口の周知） ◆ 外出を支えることとリスクを減らすことを両輪で進める取組
重点目標 3 安心して思いを伝えられる環境づくりの推進 重点施策 1 認知症の人同士・家族同士が出会いながら合う機会の創出 重点施策 2 認知症に関する情報の発信 重点施策 3 意思決定支援の理解の促進と実践の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・早期の段階から地域と繋がり続けるための個別支援（医療・介護の連携） ・多様な主体との連携 	部会② 【意思決定支援について】 【案】 ◆ 意思決定支援についての普及啓発（医療介護連携推進会議） ◆ 意思決定支援の実践に向けた個別支援の実践 ・地域ケア会議等を活用し事例を通して、多様な立場の人と意思決定支援の理解を深め、実践を推進する。
			その他 ・安心安全な外出に向けた取組 ⇒ ・庁内連携（地域安全・地域交通課、建設管理課） ⇒ ・個別支援（ケア研・推進員）  ・早期の段階での個別支援 ⇒ 初期段階の事例について事例検討の実施（初期集中支援事業） ・介護福祉士会研修（7月22日、9月10日）

令和8年度 藤枝市認知症とともに生きる共創のまちづくり委員会 年間予定（案）

※会場、内容は変更となる可能性がございます。

	会議	日程		開始時間	会場	内容（案）
		日付	曜日			
1	第9回	令和8年5月21日	木	14:00	市役所西館5階 大会議室	・令和8年度の計画に基づく取組について
	部会①	8月頃				・社会参加バリアフリーについて
	部会②	7月頃				・意思決定支援について
2	第10回	令和8年9月16日	水	10:00	市役所西館5階 大会議室	・令和8年度の計画に基づく取組の進捗状況について (中間報告)
	部会①	11月頃				・社会参加バリアフリーについて
	部会②	12月頃				・意思決定支援について
3	第11回	令和9年3月11日	木	14:00	生涯学習センター 第2会議室	・令和8年度の計画に基づく取組の進捗状況及び評価について ・令和9年度の取組について

